

自治会報 **かけはし**
 (第2つつじが丘自治会と「会員」の「はしわたし」)

No 009
 2021年 1月15日
 発行責任者
 自治会長 山田 俊克

今年は昨年からの「新型コロナウイルス感染症」拡大防止対策論争からの「新年」となりました。国内で新型コロナウイルス感染者が確認されてから、1月15日で1年になるようです。感染拡大の波に襲われて、2度目の「緊急事態宣言の発出」、4都県(東京都、神奈川、千葉、埼玉)から始まり、7府県(大阪府、京都府、兵庫、福岡、愛知、岐阜、栃木)へ拡大、その後も、「緊急事態」準じた対応県が出てきました。茨城県内もどうなるのか心配していたら、県独自の「緊急事態宣言」を発令。「茨城県の不急不要の外出自粛要請」を受け、牛久市は公共施設などの使用停止を2月14日まで延長、と日常生活が制限されています。寒い時期ですが、お家の中では、換気に気を付けると共に、ストレスを溜めない様に、人混みを避け、散歩などで体調を整えて過ごしましょう。

1月15日(金)茨城県知事が、県独自の「緊急事態宣言」を発出。
牛久市が、1月8日(金)から2月14日(日)の期間、市内の公共施設を利用停止へ変更を通知
 ※外出自粛要請期間は2月7日(日)までですが、健康観察期間として2月14日(日)まで利用停止
 ※茨城県知事より外出自粛要請期間延長があった場合、今後利用停止を延長される可能性があります。

第2つつじが丘自治会「専門部」からのお知らせ

環境施設部が主導して実施してきた、2020年度の公園などの清掃実績を報告します。

月日		第1公園	第2公園	第3公園	第4公園	二小付近	計	
5月30日	参加人数	コロナ禍のために「中止」					2	2
	ゴミ袋数					28	28	
7月12日	参加人数	19	20	18	13	21	91	
	ゴミ袋数	3	8	6	8	8	33	
9月13日	参加人数	18	24	16	18	18	94	
	ゴミ袋数	31	6	7	33	12	89	
11月15日	参加人数	20	21	26	18	19	104	
	ゴミ袋数	8	9	12	18	8	55	
12月13日	参加人数	17	29	11	14	11	82	
	ゴミ袋数	9	9	11	18	7	54	
合計	参加人数	74	94	71	63	69	373人	
	ゴミ袋数	51	32	36	77	35	259袋	
公園里親	4月～12月	164	67	105	124	63*	523袋	

* 田宮西広場(第2つつじが丘区民会館周辺)

自治会の公園及び二小坂他清掃活動にご参加頂き有難うございました。

又、公園里親、会館里親の方々のご活動により公園等を気持ちよく使用させて頂いています。

自治会として皆様のご協力にお礼申し上げます。

今後もご協力賜りますように宜しくお願い致します。

公園等自治会員の参加率は約22%/回です。(溝清掃は参加者へ含んでいません)

* 1月の班長会は、地区単位の分散開催で実施しました。

自治会 会員状況	自治会会員数(1/15現在)	転入	転出	訃報	2020年12月23日現在	
	435(世帯)	5	1	9	発行編集	自治会 総務部
	第2つつじが丘 令和2年12月1日現在 世帯510 男550人 女606人 合計1,156人	市人口		世帯数		
人口1,156人=65歳以上594人(男273人、女321人)で高齢化率51.4%です。					84,884人	37,096世帯

自治会専門部(役員含む)が高齢化しています。自治会維持のため「専門部(男女関係無し)」への入会をお願いします。

期間 赤い羽根共同募金運動募金日
 十月一日～三月三十一日

第2つつじが丘自治会「専門部」からのお知らせ
 1月から3月の行事予定

豆まき 中止 に伴う 対応	茨城県知事が県独自の「緊急事態宣言」を発令したことに伴い 牛久市の公共施設使用停止期間が2月14日(日)まで延長されたために 中止 と致します。 丑年生まれ(年男・年女)の方に落花生をお配り致します。(申し込み回覧中) 見逃した丑年希望者は直接区民会館ポストへ投函(地区・班、氏名、誕生年を記入)下さい。
新規	「桃の節句」とは、正しくは「上巳(じょうし、じょうみ)の節句」 「桃」の節句と呼ばれるようになったのは、旧暦の3月3日の頃に桃の花が咲くことや桃は魔除けの効果を持つとされてきたからだとか。 皆さんの自宅で、仕舞われている雛人形等を区民会館に飾って皆で楽しみませんか。
桃の節句 (雛飾り)	内容は 雛飾りに関係するものを会館に飾り、来館者に楽しんで頂く
以前は	日時 2月25日(木)～3月3日(水)の間 10時～16時まで *2月27日、28日はイベント開催
節供	注意 コロナ禍の影響で中止になる場合があります。

令和3年度 新班長説明会【2月21日 日曜日 13:30から】

* 所属専門部の確認:説明会

令和2年度 定期総会開催【3月28日 日曜日】

自治会の皆さん
 コロナ禍のガマンの日常で、「始めたこと」・「やめたこと」
 皆さんに教えたい、聞いて貰いたいことが有りましたら、区民会館ポストへ投函下さい

公園の使用活性化：利用されない公園は寂しい(防災の観点からも多様な目的で使用を見直しませんか)

1月17日「防災とボランティアの日」
 1995年の1月17日に起きた「阪神・淡路大震災」がきっかけで制定されました。また、今年は「東日本大震災」が発生してから10年を迎えます。昨年から引き続き世界中を襲っている「新型コロナウイルス感染症」が猛威を振るい、新年早々都市部での「緊急事態宣言の発出」、各地方都市部における外出自粛等の生活に影響する事態が続いています。いろいろな「災害」においても「医療関係者、生活用品の販売及び物流を担う関係者」を無くしては生活が成り立ちません。 本当に「感謝の気持ちでいっぱいです」
 コロナ禍の中で、いろいろなことが起きる「想定外」を予測(リスク管理)して対策されていますか。
 「災害」に備えて「自分の身は自分で守る」努力を(自助)、地域や近所の人々が集まって協力して取り組む(共助)と言われています。しかしながら、それでは安心できませんよね。「公助」を当てにしても、個々には対応してくれません。高齢化が進む自治会に於いても、「自助」「近所」だけでは、対処できなくなっていますか。
 地域の力「自治会」を皆さんで、「継続した活力ある組織」に育て、いざ、と云う時に「力」になってもらえるようにしたいものです。「人との距離」が悩ましい時代ですが、いろんなことが起きる昨今、難関を乗り越えるのは「人の在り方」と思います。普段から「自治会の在り方」を自分のこととして考えましょう!

交流会

1月12日に宝陽台自治会との2回目の意見交流会を行ってきました。宝陽台自治会は、つくば市荃崎地区に属する自治会です。宝陽台自治会は、我が自治会の1地区を境として活動されています。行政区は、つくば市、牛久市と異なりますが、自治会の設立、規模としても似たような状況の自治会です。
 宝陽台自治会とは、災害時の『飲料水供給の相互協力協定』を結んでいます。
 宝陽台自治会の高齢化率も高く「56.8%(第2つつじが丘自治会51.4%)」と、つくば市で1番だそうです。生活圏は牛久市、行政関係はつくば市の端で不便が多いようです。牛久市の「カップ号」の乗り入れは、大変助かっているようです。宝陽台自治会はスローガンに「住み続けたい宝陽台」サブスローガン「高齢化に対応、住み続けたい団地を目指した活動」を掲げ頑張りたいとのこと。当自治会とは今後も交流を深めたいとのことでした。

共用施設の清掃、消毒、手洗い、アルコール消毒の徹底を